

学校図書館 支援センター だより

2019・12・13《第100号》



石川小 百科事典をもっと身近に「百科事典早引き大会」!

今年度、白山市の司書部会では来年度の図書館利用指導の発表に向け、利用指導について研究をしています。利用指導の内容を見直したり、自校の充実になるよう他校の授業を参観しました。

石川小では百科事典利用の定着への一つの試みとして「百科事典早引き大会」を実践しました。利用指導をした後、百科事典をもっと身近な検索ツールとして利用してもらいたいというねらいです。

多くの小学校では、3年国語の教科書「本を使って調べよう」で百科事典の使い方を学習します。この学習後「里山は、未来の風景」から、わからない言葉を調べるといった流れになっています。石川小でも同じ百科事典を何セットか借りて利用指導をします。そこでせっかく借りられるのであれば、これを利用しないのはもったいないと考え、「百科事典早引き大会」を実践しました。

今年度は3・4年生に百科事典の利用指導をしました。4年生は昨年国語で担任が簡単に利用指導はしていますが、忘れていた児童も多いのではないかと思います、4年生にも行いました。ここで理解してほしいのは、「百科事典という調べるツールがある」、「速くたくさんの言葉を調べるためのコツ」の2つです。そのコツとして、①百科事典は分冊されている（どの巻を使うか?）、②「つめ」、「はしら」に注目することで、調べたい言葉を速く見つけることができるということです。

この指導の後、3～6年生を対象にした「百科事典早引き大会」を図書委員会のイベントとして実施しました。3・4年生には、利用指導時に大会のお知らせをして、5・6年生には白山市の他の学校でも実施することを知らせました。

そして7月中旬3・4年の部と5・6年の部に分けて大会を実施しました。2～3人1チームを作り、問題用紙の5問の言葉が掲載されている巻とページを書き入れます。そして、全問正解の時間を競う大会です。3・4年生は13チーム、5・6年生は7チームがエントリーし、速さを競いました。3・4年生で最速タイムが3分21秒、5・6年生では1分40秒のタイムが出ました。この時点では、本校の5・6年生が白山市で1位の成績だったのでそれを伝えたとこ、大喜びしていました。しかし、その後もっと速いタイム（鳥越小の1分38秒）が出てしまったので、「もう1度リベンジしたい!」とっていました。

今後の課題としては、遅いチームの場合、良さが実感しにくいことです。漢字の読みや、「はしら」の使い方がわかっていないため、時間がかかり、早く引けなかったことで苦手意識ができてしまいました。これは国語辞典をもっと利用することで解決するのでは、と考えられるので、次回は「国語辞典早引き大会」をやってみたいと計画しています。

	キーワード	巻	ページ
1	プレーメン		
2	パッションフルーツ		
3	やな		
4	国技館		
5	火砕流		



◇松任中1年生 国語『私が選んだこの1冊』でPOP作成◇

これまでに読んだ本の中から友達に紹介したい1冊を決め、印象に残った部分を引用しながら、POPを作成しました。

白山市立松任図書館1階、正面と北口掲示板に展示しています!

【展示期間】: 12月3日(火) ~ 12月28日(土)まで

